



## 2月 紋別一丘珠間トライアルチャーター運航実施

平成30年に実施された「道内航空ネットワーク充実・強化調査研究事業」をもとに北海道は、実証実験路線に流動人口の多い札幌一紋別間を選定しました。それを受け、2月1日(土)から2月23日(日)までの土日限定で、紋別一丘珠間のトライアルチャーターを実施しました。

このトライアルチャーターでは、株式会社北海道エアシステム社の機材サーブ340(36人乗りプロペラ機)を利用し運航を実施しました。

## 4月 新型コロナウイルス感染症拡大

令和元年12月から、流行の兆しを見せ始めた新型コロナウイルス感染症が、徐々に日本にも拡大していき、4月には緊急事態宣言等が出されるなど日々の生活が一変しました。この感染症により、市内の各種行事が中止となり、外出自粛要請や都道府県間の移動の制限が発令されるなど生活に多大な影響をもたらしました。

6月に発表された「新北海道スタイル」により、マスクの着用、3密を避けるなど感染症対策がより一層徹底されました。そのほかにも、市役所庁内や各店舗では窓口にコロナシールドが設置されるなど感染症拡大防止対策が絶え間なく行われています。

また夏ごろからは、各施設でブルーライトアップが行われ、コロナ禍において、最前線で地域医療を支えてくださる医療従事者の皆さまへ感謝とエールを伝える取り組みが行われました。



## 6月 学生寮開設

6月16日(火)、紋別高等学校等の生徒が入寮することができる公設の学生寮がオープンしました。

この学生寮は、認証オートロック式、防犯カメラの設置、女子フロアには指紋認証キーを設置する等安全性に優れております。

また、個室にはそれぞれ冷暖房のエアコン、Wi-Fi環境が整備されており快適な学習・生活空間となりました。

## 7月 東京直行便が就航20周年

7月1日(水)、ANA(全日空空輸)の東京紋別線が就航20周年を迎えました。この日、紋別空港では20周年メモリアルフライト(記念運航)を実施。消防車2台による放水アーチのお出迎えとともに、特別仕様のフラワージェットが姿を現しました。搭乗者にオリジナルマグカップやトートバックを送り日頃の愛顧に感謝しました。

平成12年の7月1日の就航以来、20年間の累計搭乗人数は約112万人となり市にとってなくてはならない重要な路線となっております。



## 8月 児童センターみらいオープン

8月7日(金)児童センターみらいオープニング記念式典が開催されました。

児童センターみらいは、施設の老朽化が問題となっていた大山児童センターに代わる新しい児童施設として開設されました。

本施設には、市内児童館・児童センターで初めてボルダリングスペースや子育て支援スペース、授乳スペースが設置され、より多くの保護者や子どもたちが利用できるようになりました。